

介護ロボット導入報告書

施設名	特別養護老人ホームビアンカ
施設の種別	指定介護老人福祉施設
住所地	岐阜県多治見市上山町 1 - 97 - 2

1 導入したロボットについて

ロボット名称	自動自立支援ベッド
介護の種類	移乗介助機器（非装置型）
ロボットの写真	

2 使用状況

使用状況	
介護ロボットが使用された場面	<p>●体位変換が自分でできない方へ自動自立支援ベッドを使用した。また、体位変換が自分でできない体の大きな利</p>

	<p>用者に優先的に使用した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●スライディングボードも活用し、自動自立支援ベッド⇔リクライニング型車椅子への移乗介助に使用した。
--	---

3 導入によって得られた効果

得られた効果	<ul style="list-style-type: none"> ●自動自立支援ベッドを自分で体位変換ができない利用者に使用することにより、介護職員の体位変換の手間が軽減した。特に人員が少なくなる夜間の体位変換業務の軽減に繋がった。また、体位変換業務に費やす時間が自動自立支援ベッド導入後に短縮することができたため、他の利用者への巡視回数を増やしたり、夜間不眠の認知症高齢者への見守り業務に時間をあてることができた。 ●自動自立支援ベッドの導入が、褥瘡予防に繋がった。 ●自動自立支援ベッドは、リクライニング型車椅子と同様の角度が保持できるため、スライディングボードを使用した移乗介助に適している。また、介護職員の移乗介助の手間の軽減にも繋がった。 ●体の大きな利用者に自動自立支援ベッドを優先的に活用することにより、介護職員が複数で介助する方が少なくなった。 ●自動自立支援ベッドを導入し、体位変換回数の軽減に繋がったため、導入前よりも少ない人員で体位変換業務が行えるようになった。 ●自動自立支援ベッドを導入することにより、体の大きな利用者を積極的に受け入れることができた。 ●自動自立支援ベッド導入後、体の小さな介護職員が無理な姿勢で体位変換を行うことが少なくなったため、体位変換業務中の腰痛防止に繋がった。 ●ゆっくりと時間をかけてベッドを傾けて体位変換が行えるので、利用者の睡眠を妨げることが少ない。
介護ロボット導入について介護士等の意見	<ul style="list-style-type: none"> ●自動自立支援ベッド導入後、体位変換の回数が減ったので、業務が楽になった。特に夜勤業務が軽減された。夜勤明けの腰の痛みや張りが少なくなった。 ●体の小さな介護職員でも安全に体位変換や移乗介助ができるようになった。

4 介護ロボットに関する問い合わせ先

施設名	特別養護老人ホームビアンカ
電話	0572 - 25 - 0780
Email	info@bitokukai.com
担当者氏名	塚本 直也